



「経済産業省認定GNT100選企業」

フロイント産業株式会社

個人投資家様向け説明会資料

JASDAQ

(証券コード 6312)

2016年11月

- I. 会社概要**
- II. 2017年2月期第2四半期決算概況**
- III. 今期の重点施策及び状況**
- IV. 今期業績予想及び株主還元**
- V. 参考資料**

I .会社概要

プロフィール

- 社名 : フロイント産業株式会社
- 設立 : 1964年4月
- 代表者 : 代表取締役社長 伏島 巖
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
- 資本金 : 10億3,560万円 (2016年2月末現在)
- 売上高 : 190.2億円 (2016年2月期:連結)
- 従業員数 : 382名 (2016年2月末現在:連結)
- 事業内容 : 機械事業・・・造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業・・・医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
- 関連会社 : FREUND-VECTOR、フロイント・ターボ株式会社



〈社名の由来〉

フロイントはドイツ語で“友達”を意味します。当社の創業者（現 名誉会長）が創業の構想を友人と考えている中で、社名の話になり、二人はFreund（友達）であったので、フロイントと名づけました。

当社ロゴは、“友”という文字のくずし字をデザイン化したものです。

フロイントのモットー
創造力で未来を拓く

- 独創性豊かな製品の創造
- 先見力で新しい市場ニーズの創造
- 組織を活性化する経営基盤の創造
- 困難に立ち向かうチャレンジ精神の創造
- 潤いのある人間関係の創造

当社グループは、“100年企業に向けた第2の創業へ”
本格的な第一歩を踏み出し、“一体感”のある事業経営”
を更に強化していく方針です。

当社グループ

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進

技術開発研究所<静岡県浜松市>



フロイント・ターボ
株式会社

粉体装置
の製造・販売

FREUND-VECTOR
CORPORATION

FREUND-VECTOR社
<米国アイオワ州>



技術
アライアンス

フロイント産業
株式会社

フロイント・ターボ社
<神奈川県横須賀市>



国内
ユーザー
機械装置の販売
化成品の販売

輸入

海外
メーカー

海外
ユーザー
機械装置の販売
化成品の販売

エリア分担のグローバル展開



当社グループでは、代理店網強化によるマーケティング拠点の増強、主要エリアにおけるデモセンターやラボの拡充により、市場・お客様ニーズに沿った事業展開を進めております。FV社が展開する北米・中南米・欧州・中東エリアでは、ジェネリック医薬品メーカーが多く存在する欧州・中東の“スマイリーエリア”での販売を強化すべく、伊ミラノのデモセンターにラボを設置しております。一方、F産業社が担当するアジアエリアでは、戦略地域をインド、中国、台湾及び韓国に絞り込み、同地域での代理店網の整備、市場拡大を進めております。

今期の状況（グループ資源の有効活用）

生産面

海外向け仕様のハイコーター
(ハイコーターオリジナル)

製産



受注・販売
(インド他
アジア圏向けに販売)

FREUND-VECTOR

フロイント産業

開発・販売面

F：フロイント産業 F-V：FREUND-VECTOR
F・T：フロイント・ターボ

	開発	販売
ハイコーター FZ	F	F、F-V
グラニュレックス	F	F、F-V
スフェレックス	F	F、F-V
Comp 4 (制御システム)	F-V	F、F-V
フローコーター 12bar	F-V	F、F-V
ターボスクリーナー	F・T	F・T、F-V

フロイントグループの事業ポートフォリオ

※1 事業分野における「△」は、一部製品供給を行っていることを示します。
※2 内製工程における「△」は、一部製造委託を含むことを示します。

部門	事業会社	事業分野 ※1		内製工程 ※2		
		医薬品	非医薬品	開発・設計	製造	テスト
機械	フロイント産業	○	○	○	—	○
	FREUND-VECTOR	○	△	○	○	○
	フロイント・ターボ	△	○	○	○	○
化成品	フロイント産業	○ (医薬品添加剤)		○	△	○
			○ (機能的食品原料)	○	○	○
			○ (食品品質保持剤)	○	△	○

特徴あるビジネスモデル “Pen” と “Ink”

1. 機械部門 (Pen)

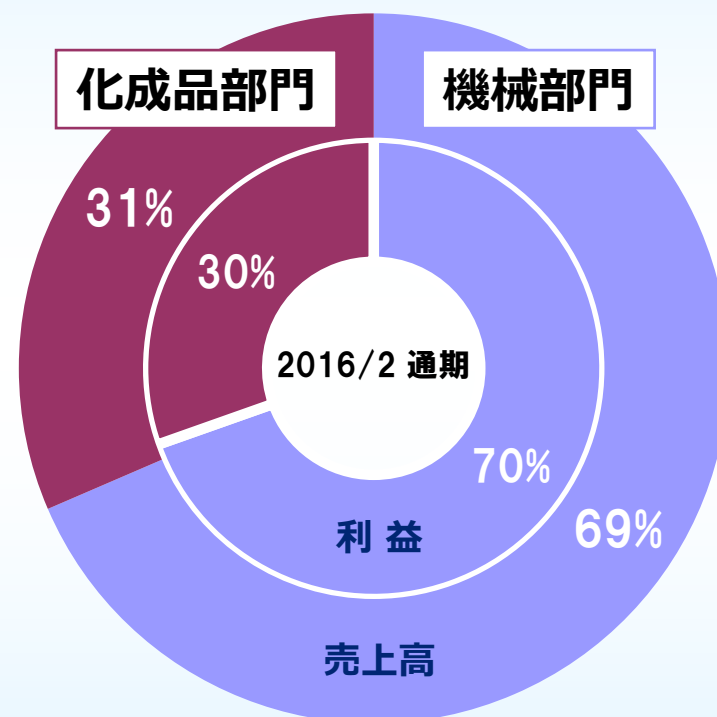
- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売。
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ。アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速。世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する。
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力。

2. 化成品部門 (Ink)

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売。
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産。
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ。
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化。

※1 GMP : Good manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成



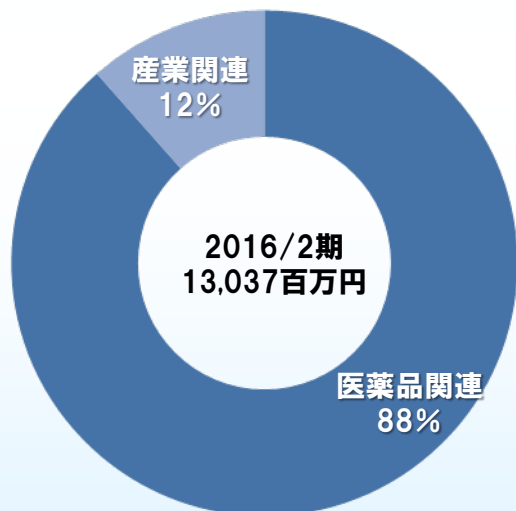
〈前期末時点〉
連結売上高 190.2億円
連結営業利益 13.4億円

【機械部門】医薬品会社向け造粒・コーティング装置が主力

主力製品群

造粒装置 コーティング装置 錠剤印刷装置 乾燥装置
 シームレスミニカプセル装置 粉碎装置 分級装置

向け先別売上構成 (2016/2期)



流動層造粒乾燥
コーティング装置



流動層造粒装置



自動錠剤
コーティング装置



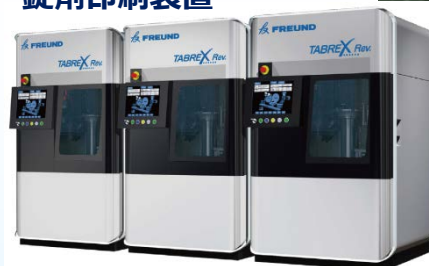
シームレス
ミニカプセル装置



粉碎装置



錠剤印刷装置



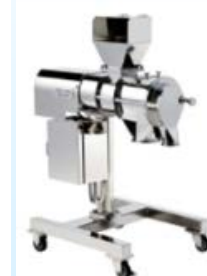
オールインタイプ
コンテインメントラボ機



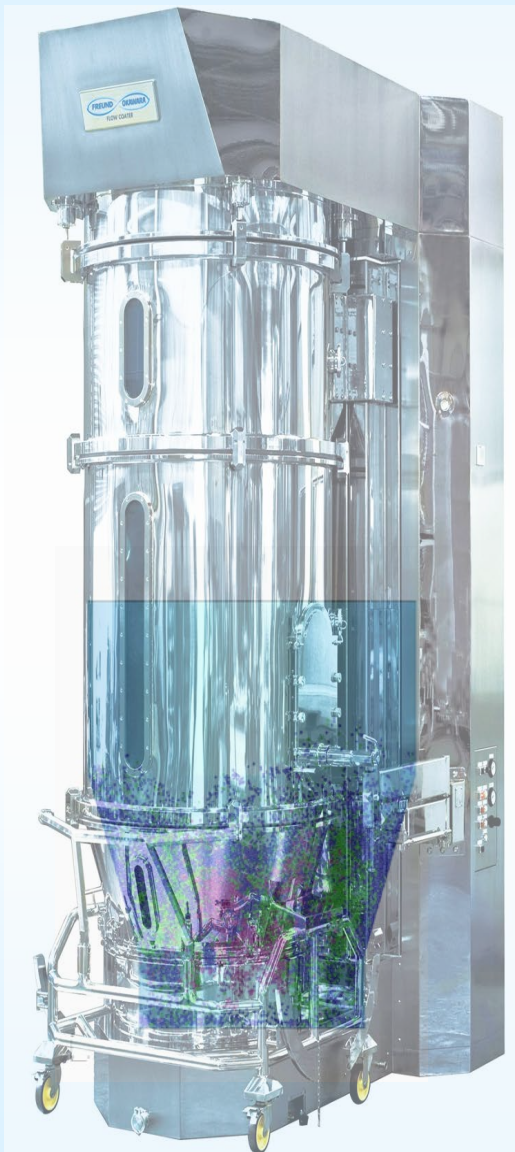
連続造粒装置



分級装置



【機械部門】医薬品会社向け造粒・コーティング装置のしくみ



条件(代表粒子)

- ・粒子: $\phi 0.1\text{mm}$ 、 $1510\text{kg}/\text{m}^3$
- ・空塔風速: $1.0\text{m}/\text{s}$

※モデル上の表示粒子サイズは $\phi 5\text{mm}$

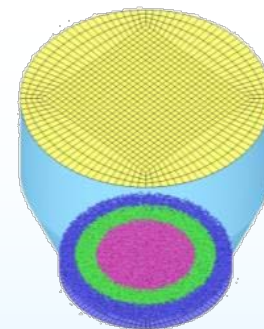
粒子coloring (r軸上に3分割)

■ : 内層1/3

■ : 中層1/3

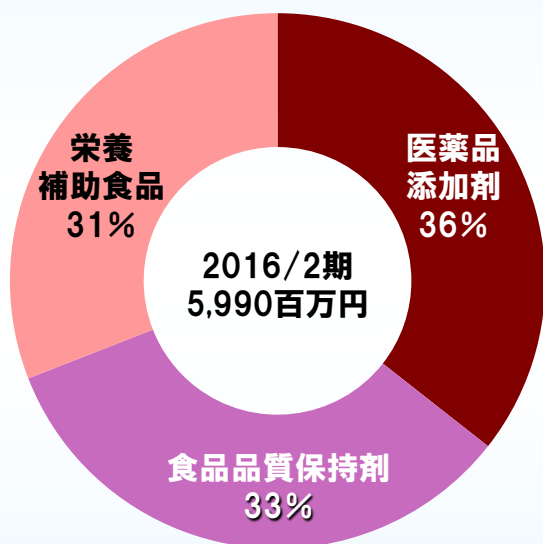
■ : 外層1/3

※初期条件 (0sec) で色分け



【化成品部門】 医薬品添加剤・栄養補助食品から食品品質保持剤を販売

化成品部門の売上構成



医薬品添加剤

- ・直打用マンニトール・乳糖
- ・球形顆粒
- ・吸着剤・固形化剤・流動化剤
- ・白色着色剤
- ・滑沢剤
- ・光沢剤
- ・賦形剤



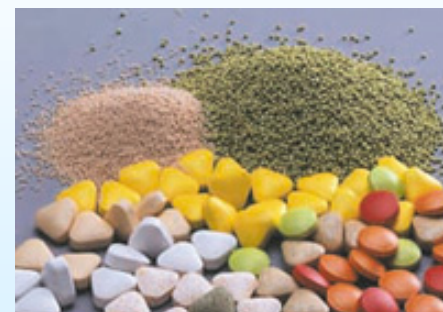
食品品質保持剤

- ・食品添加剤
- ・食品品質保持剤



栄養補助食品・他

- ・シームレスミニカプセル
- ・AQshelax（水性シエラック液）
- ・サプリメント
- ・キトコート



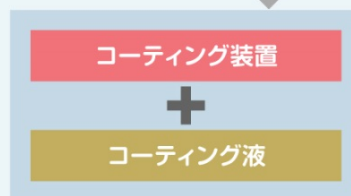
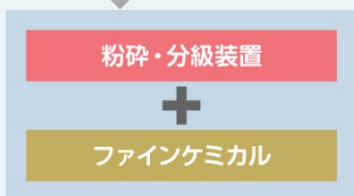
グループ経営力（医薬品関連ビジネスモデル）

医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域

フロイントグループのビジネスフィールド



機械部門と化成品部門をコアコンピタンスにユニークな製品を供給



国内	フロイント産業 フロイント・ターボ	フロイント産業	フロイント産業	フロイント産業
海外	(フロイント・ターボ)	フロイント産業 FREUND-VECTOR	フロイント産業 FREUND-VECTOR	—

非医薬品分野事業
の拡充

グローバル事業
の強化

新規領域
への参入

II. 2017年2月期 第2四半期の決算概況

2017年2月期第2四半期業績実績

- ジェネリック医薬品メーカー向けの機械販売堅調で増収、増益。

(単位:百万円)

	2016/2 上期	2017/2 上期		前年同期比増減	
	金額	実績	期初計画	金額	%
売上高	7,697	8,762	8,000	+1,065	+13.8
営業利益	198	687	370	+489	+247.0
経常利益	252	708	370	+456	+180.9
上期純利益	123	306	240	+183	+148.7
一株純利益(円)	7.17	17.77	13.92	+10.6	+147.8
設備投資	83	318	-	+235	+283.1
減価償却費	163	155	-	△8	△4.9
研究開発費	275	285	-	+10	+3.6

【機械部門】上期グループ動向

- 国内GE薬向け及び産機向けの売上が好調。
- 北米向け好調だが、収益計上時期が下期偏重で上期のF・ベクターは営業赤字。

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期	
	金額	前同比 (%)	金額	前同比 (%)
売上高	4,992	+23.5	5,697	+14.1
単体	3,529	+27.1	3,990	+13.0
FREUND・VECTOR社	1,241	△3.6	1,253	+1.0
フロイント・ターボ社	398	△4.6	706	+77.3
営業利益	152	+21.6	567	+273.0
【主要子会社】				
FREUND・VECTOR社	△100	-	△14	-
フロイント・ターボ社	△28	-	43	-
【地域別売上高】				
日本	3,391	+31.3	4,195	+23.7
北米・南米	807	△22.1	1,104	+36.8
欧州・アフリカ	328	+228.9	263	△19.8
中東・アジア・大洋州	465	+43.7	134	△71.2

【化成品部門】上期概況

- GE薬向け医薬添加剤が増加。新規食品は顧客の生産調整がプラスに寄与。
- プロダクトミックス改善とR&Dコスト大幅減で営業利益増加。
- 食品品質保持剤は、計画未達。

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期	
	金額	前同比 (%)	金額	前同比 (%)
売上高	2,704	△18.7	3,065	+13.4
医薬品添加剤	994	△7.2	1,150	+15.7
食品品質保持剤	956	+2.2	927	△3.0
新規食品	753	△42.9	987	+31.0
(輸出売上高)※1	52	+29.1	51	△1.9
営業利益	219	+13.6	357	+63.0

※1 仕向地:インド・韓国・台湾

Ⅲ. 今期の重点施策及び状況

政府のジェネリック振興策は想定を大幅に上回るスピード

第6次中期経営計画期間の重点施策

機械部門 …… グローバル展開加速と製品開発強化

化成品部門 …… 新製品拡充と既存品の競争力強化

政府のジェネリック医薬品普及目標
60%→80%への引上げ（2020年度末まで）

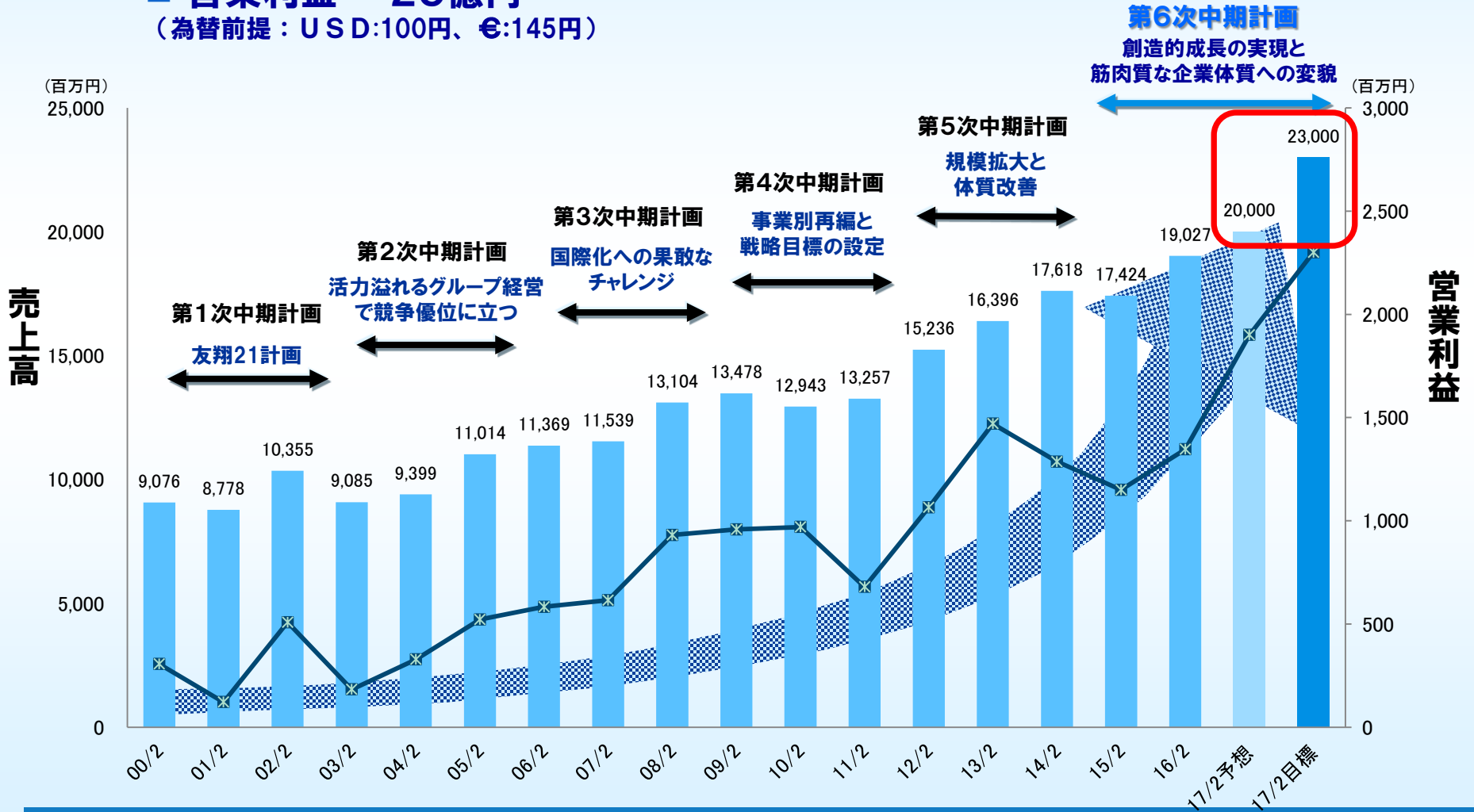
昨年公表された政府のジェネリック薬普及目標は想定を上回るスピードと高い数値



前期はジェネリック医薬品関連での失注が無いように
国内の営業資源はジェネリック関連受注に注力

2017年2期（中計最終年度）目標

- 売上高 230億円
 - 営業利益 23億円
- （為替前提：USD:100円、€:145円）



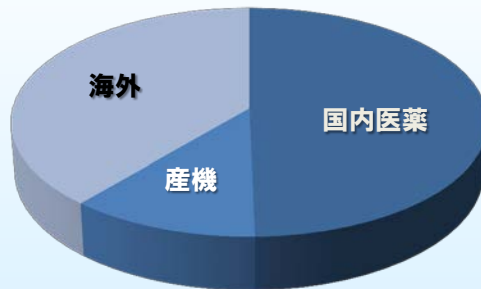
事業部別重点戦略

機械部門

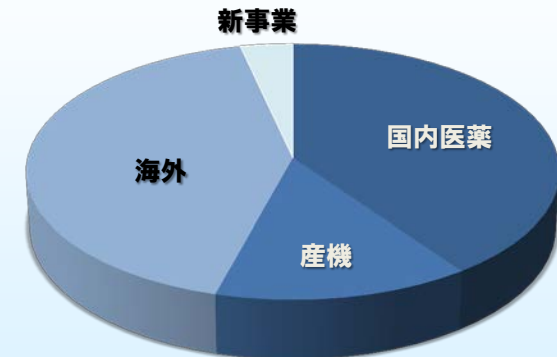
…グローバル展開加速と製品開発強化

- 国内 :競争力強化
- アジア :中国、インドに戦力集中
- 米州 :新規顧客開拓と新製品販売に注力
- 欧州 :スマイリーエリアでの販売強化
- 産機 :健康/食品向け強化と電池業界への本格参入
- 開発 :市場ニーズにマッチした新製品開発とスピードアップ
- 生産 :フロイント・ベクターの工場増設と海外で部品生産検討

14/2期
110億円



17/2期計画
142億円



製品開発などの状況（TABREX Rev.）

- 開発期間:2015年1月～2016年6月
- 上市:2016年7月1日
- 販売開始:同年9月1日
- 現在、ユーザーの引合い・テスト中



錠剤印字サンプル

**錠剤印刷装置
TABREX Rev.
(外観検査機能搭載型)**



製品開発などの状況（TABREX Rev.の機構）

1) 生産規模に自在に対応できるフレキシビリティ

モジュラー方式

生産規模に応じて連結台数を自在に増減でき、将来の生産変動にもフレキシブルに対応できる、モジュラー方式としました。

10万錠/時



30万錠/時



50万錠/時

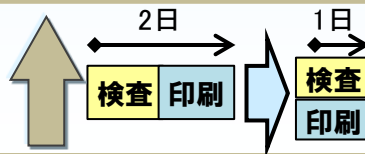
装置の小型化
高さ1800mm、巾1090mm

単列搬送のシンプルなメカ

錠剤を、円盤のエッジに一列に吸着させ、円盤から円盤へ受け渡しながら、検査と印刷を行います。

2) 工程短縮・ランニングコスト低減

検査工程の追加不要



外観検査機能の装備

印刷前に錠剤の外観を検査します。

メンテナンスが容易

カートリッジ式の印刷ヘッドなので、洗浄が不要、交換が容易で、使うぶんだけを購入できます。

カートリッジ式ヘッド

印刷ヘッドはワンタッチで交換できるカートリッジ式です。

3) 錠剤品種への対応が容易

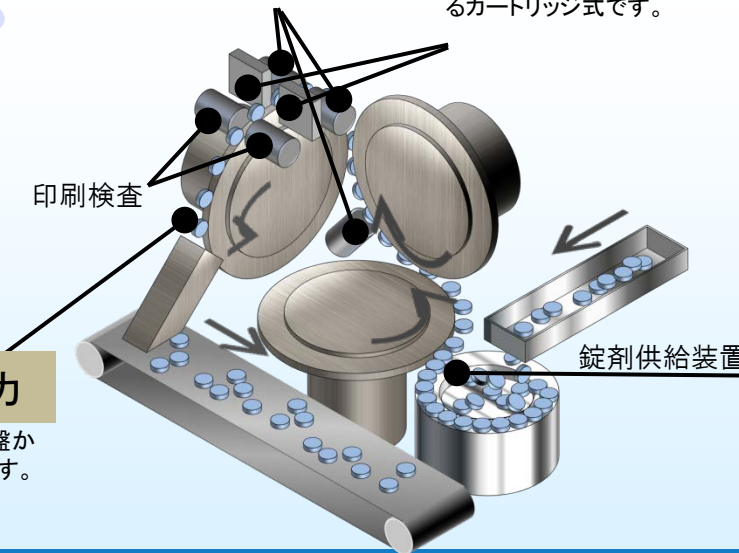
品種切替えが容易

大幅な部材追加や調整なしで、サイズちがいの錠剤に切り替えが出来ます。

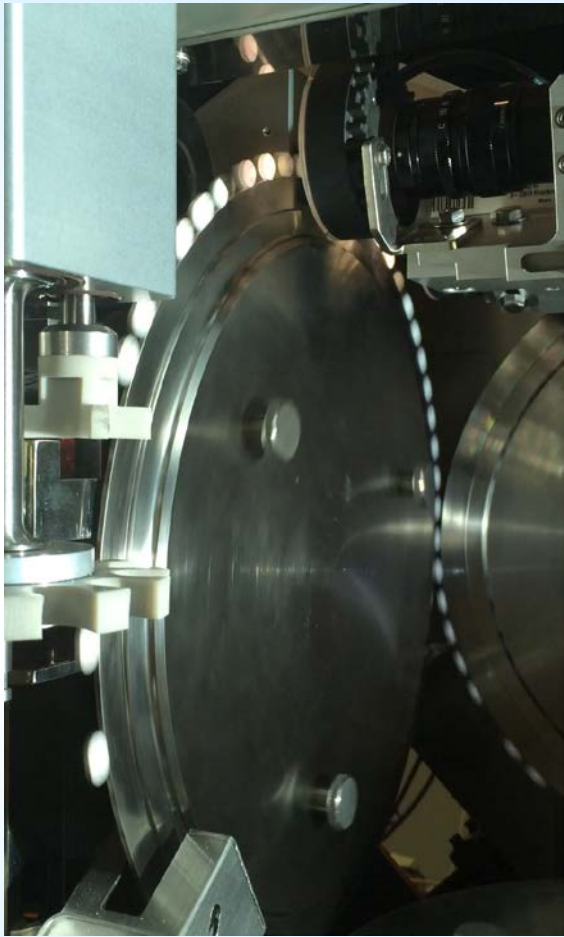


ガイドレスの錠剤搬送

錠剤の外周をガイドレスで円盤のエッジに吸着させ、ピックアップしています。



新錠剤搬送 (TABREX Rev.)



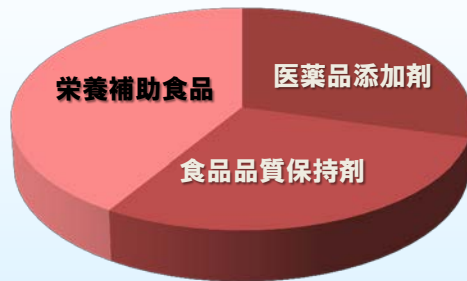
事業部別重点戦略

化成品部門

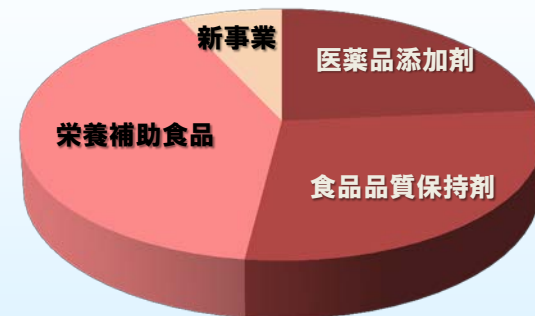
・・・新製品拡充と既存品の競争力強化

- 医薬品添加剤 : 先発・GE薬の取り込み
- 栄養補助食品 : 既存品の受注強化と新規事業開発
- 食品品質保持剤 : 製品ラインアップの拡充と営業強化
- 開発 : スピードアップと最低年間で1品目上市
- 生産 : 生産拠点統合やライン共有化でコスト削減

14/2期
66億円

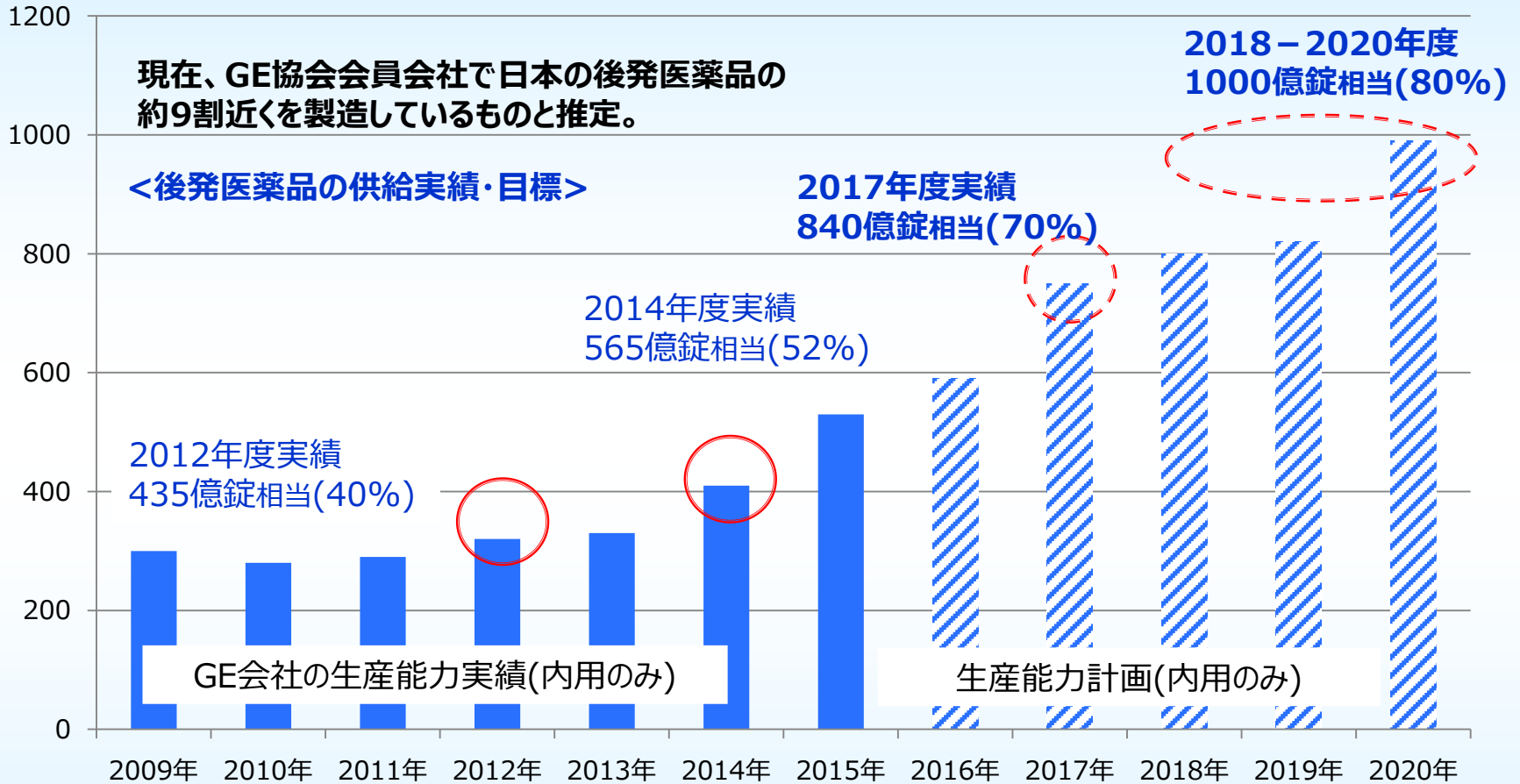


17/2期計画
88億円



後発医薬品企業の生産能力と設備投資等の状況

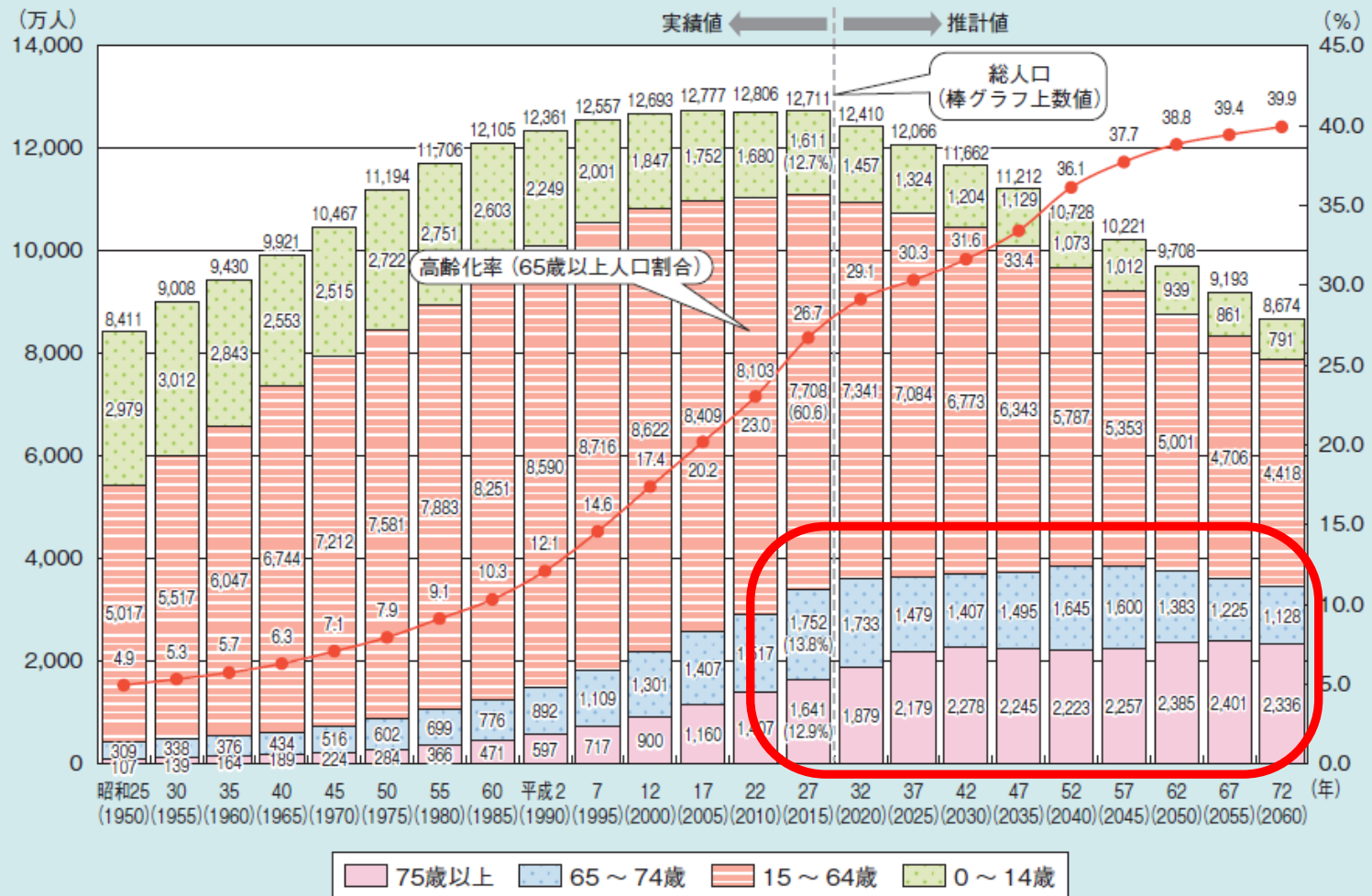
(単位：億錠)



設備投資実績 累計3,216億円

出典：日本ジェネリック製薬協会調べ
(2015年7月 安定供給に関するアンケート)
内用薬の生産能力(単位：億錠)について、
会員会社の回答(実績・見込み)の合計

国内の2060年までの高齢化と人口動態の推移



資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2015年は総務省「人口推計（平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値）」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

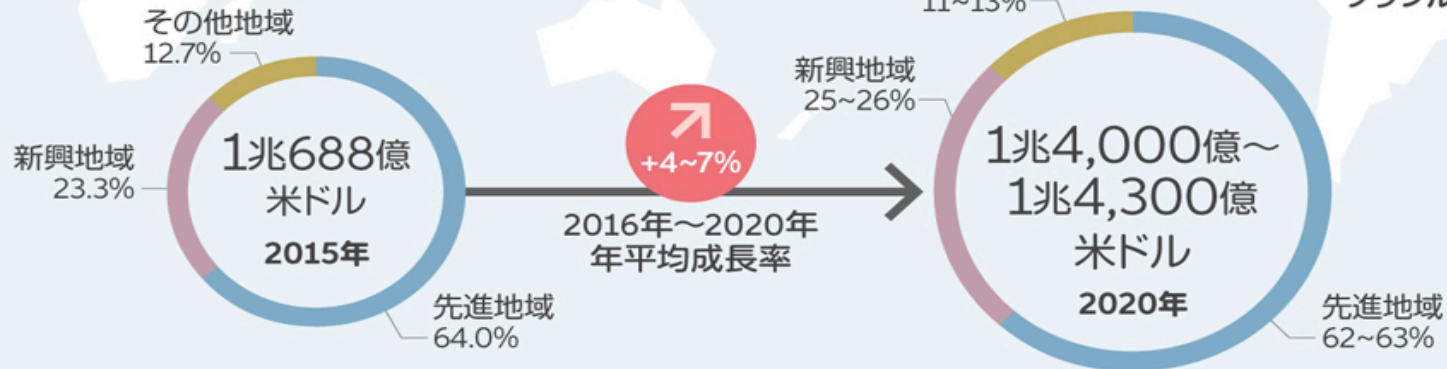
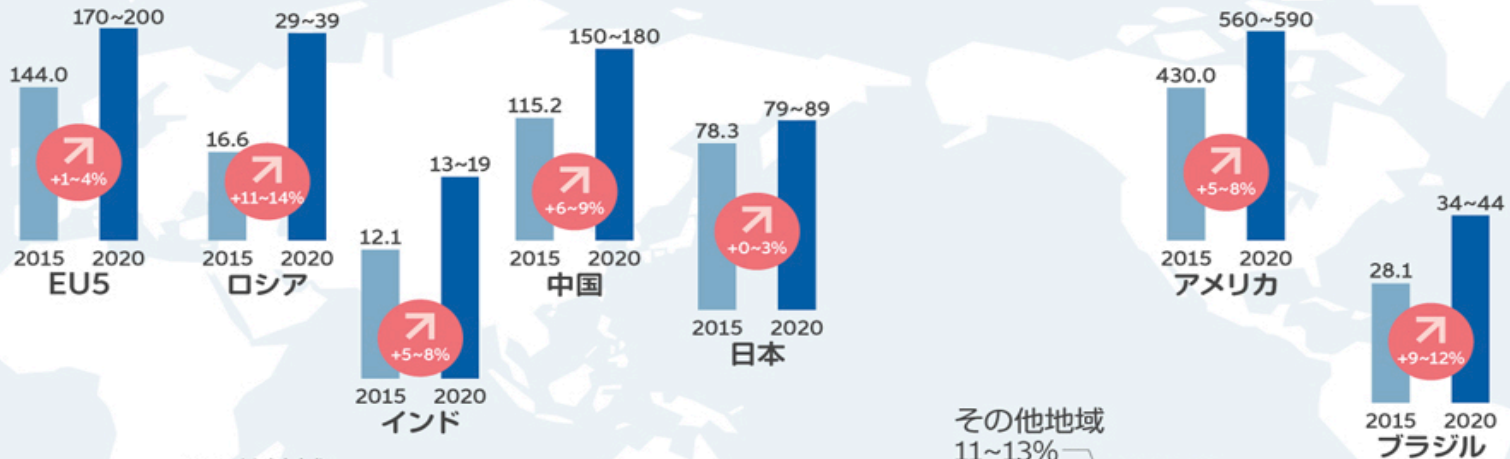
(注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

第6次中期経営計画期間の環境想定

世界医薬品市場は途上国が急拡大

地域別・主要国の医薬品支出

(単位：10億米ドル)



出所：IMS Market Prognosis, October 2015

注：1. US\$建て支出は変動為替レートにより計算

2. US\$建て年平均成長率 (CAGR) は、2015年第2四半期時点の恒常為替レートにより計算

3. 欧州5か国は、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国

IV. 今期の業績予想及び株主還元

2017年2月期業績予想

- 機械部門の伸長で化成品部門の落ち込みを吸収し、収益回復を見込む。
- 9月26日：上期上方修正。通期は期初ガイダンスの変更なし。

(単位:百万円)

	2016/2期	2017/2期 中間		2017/2期 (予想)	前年比増減	
		(予想)	(実績)			
売上高	19,027	8,000	8,762	20,000	+973	+5.1
営業利益	1,346	370	687	1,900	+554	+41.2
経常利益	1,394	370	708	1,900	+506	+36.3
純利益	961	240	306	1,180	+219	+22.8
一株純利益 _{(円)(注)}	55.74	13.92	17.77	68.43	+12.69	
設備投資	266	-	-	300	-	
減価償却費	321	-	-	320	-	
研究開発費	687	-	-	700	-	

(注)2016/3/1付けで株式分割1対2を実施しており、一株利益は分割調整後に修正しております。

部門別収益見通し

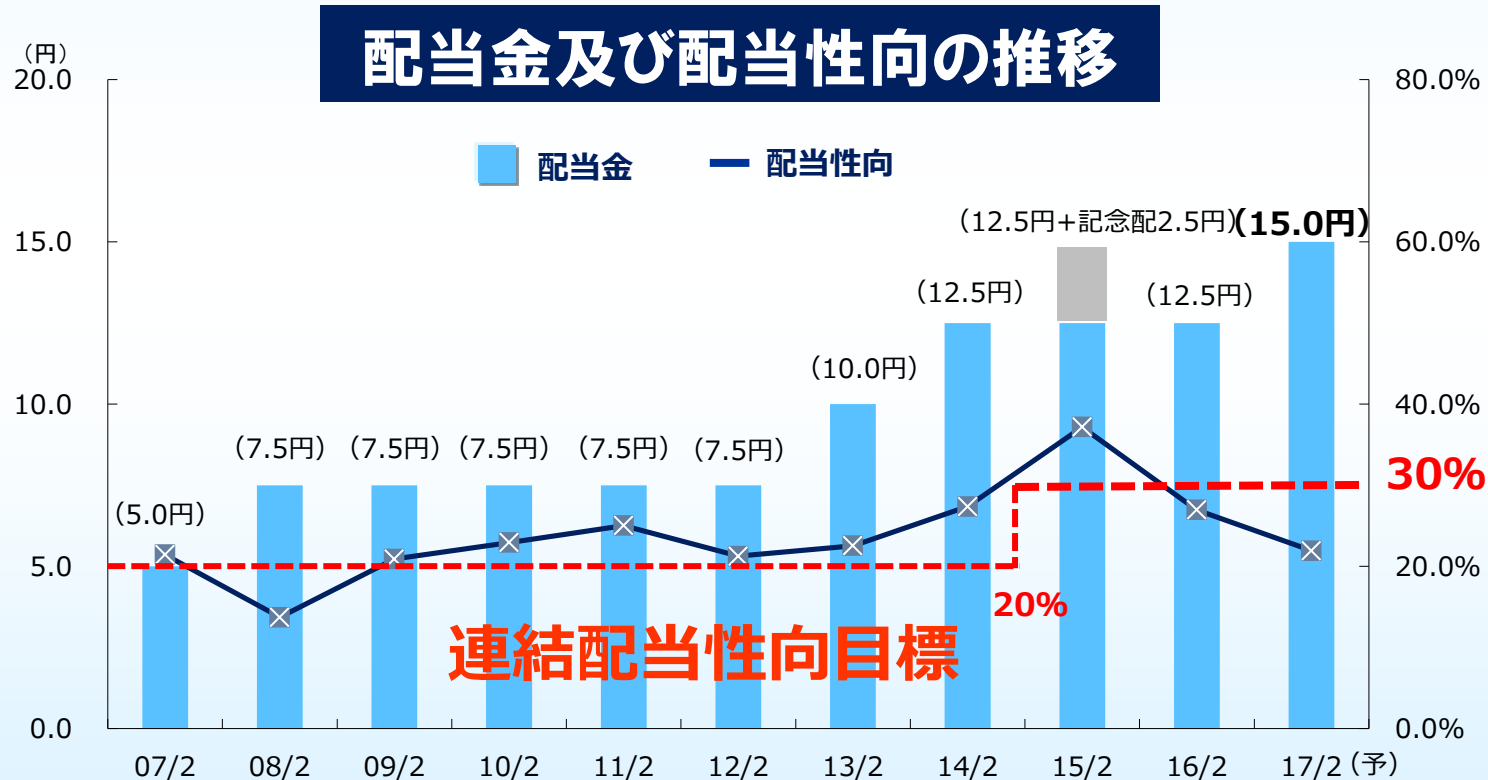
- 機械部門:国内・アジア向け伸長で増収を計画。
- 化成品部門:欧州R&D子会社の売却、セグメント内ミックスの変化により減収・増益を計画。

(単位:百万円)

	2016/2期		2017/2期中間		2017/2期(予想)		前年比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	(百万円)	%
連結売上高	19,027	100.0	8,762	100.0	20,000	100.0	+972	+5.1
機械部門	13,037	68.5	5,697	65.0	14,150	70.7	+1,113	+8.5
化成品部門	5,990	31.5	3,065	35.0	5,850	29.3	△140	△2.3
セグメント利益	1,346	100.0	687	100.0	1,900	100.0	+553	+41.1
機械部門	1,189	88.3	567	82.5	NA	-	-	-
化成品部門	519	38.6	357	51.9	NA	-	-	-
全社、消去	△362	△26.9	△237	△34.4	NA	-	-	-
為替(円/ドル: +は円高)	121.1	-	111.7	-	105.0	-	+16.1	-

配当予想

- 年間の連結配当性向目標は30%。
- 一株当たり配当金は15円を計画。



(注) 2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、16/2期以前の配当金は分割調整後の金額です。

株主還元 株主優待

- 2015年2月期、株主優待制度を導入
- 2016年2月期に**長期保有株主様**に株主優待制度を追加

中間期末株主様に
「オリジナル・クオカード」を謹呈しています。



【2017年2月期の優待品】

【優待内容】

所有株式	贈呈内容
1年以上	クオカード 1,000円分
3年以上	クオカード 2,000円分

(毎年8月31日現在、1単元(100株)以上保有で当社株主名簿に記載または記録された株主様が対象となります。)

- ①1年以上保有の株主様は1,000円相当。
- ②3年以上保有の株主様は2,000円相当。

V. 參考資料

要約損益計算書

(単位:百万円)

	2016/2 上期		2017/2 上期		前年同期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	%
売上高	7,697	100.0	8,762	100.0	1,065	+13.8
売上原価	5,266	68.4	5,900	67.3	634	+12.0
売上総利益	2,431	31.6	2,862	32.7	431	+17.7
販管費	2,232	29.0	2,175	24.8	△57	△2.6
営業利益	198	2.6	687	7.8	489	+247.0
営業外損益	53	0.7	39	0.4	△14	△26.4
経常利益	252	3.3	708	8.1	456	+181.0
特別損益	△2	0.0	△230	△2.6	△228	-
税引前利益	249	3.2	478	5.5	229	+92.0
純利益	123	1.6	306	3.5	183	+148.8

営業外損益

- ・営業外収益 → 39
- ・営業外費用 → 18

特別損益

- ・有価証券売却益 → 22
- ・役員退職慰労金 → △250

要約貸借対照表

(単位:百万円)

	2016/2末	2016/8末	増減額
流動資産	13,053	14,321	+1,268
現金及び預金	4,042	4,900	+858
売上債権 ※1	5,694	4,994	△700
棚卸資産	2,432	3,578	+1,146
固定資産	4,153	4,047	△106
有形固定資産	3,135	3,210	+75
無形固定資産	182	80	△102
投資その他資産	835	756	△79
資産合計	17,206	18,369	+1,163

棚卸資産 +1,146百万円

・商品・製品	+70
・仕掛品	+953
・原材料・貯蔵品	+123

無形固定資産

・会計基準変更に伴う のれんの減少分	△77
・ソフトウェア(基幹システム) 償却費	△25

流動負債	5,315	6,782	+1,467
仕入債務 ※1	2,580	3,341	+761
前受金	1,288	2,443	+1,155
固定負債	361	339	△22
退職給付に係る負債	194	189	△5
負ののれん	11	-	-
負債合計	5,677	7,122	+1,445
純資産合計	11,529	11,246	△283

※1 電子記録債権債務含む

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2016/2 上期	2017/2 上期
営業キャッシュ・フロー	472	1,480
税引前利益	249	478
減価償却費	163	155
売上債権の増減額(△は増加)	743	626
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,045	△1,326
前受金の増減額(△は減少)	716	1,281
仕入債務の増減額(△は減少)	165	774
法人税等の支払額	△313	△94
投資キャッシュ・フロー	△278	△268
有形固定資産の取得による支出	△160	△342
財務キャッシュ・フロー	△299	△247
有利子負債の純増減額	-	-
配当金の支払額	△257	△215
現金及び現金同等物 期中増減額	△99	858
現金及び現金同等物 期末残高	4,448	4,900

四半期業績推移

(単位:百万円)

	2015年2月期				2016年2月期				2017年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
機械部門受注高	3,648	2,549	3,016	3,192	3,833	2,900	2,938	3,440	3,689	4,716		
機械部門受注残高	6,945	7,235	7,225	6,682	8,900	8,676	7,976	7,086	8,318	9,765		
連結売上高	3,506	3,865	4,639	5,413	3,002	4,694	5,384	5,945	3,912	4,850		
機械部門	1,794	2,248	3,105	3,792	1,826	3,166	3,671	4,373	2,413	3,284		
化成品部門	1,711	1,616	1,533	1,620	1,176	1,528	1,713	1,572	1,498	1,566		
連結セグメント利益	△20	121	483	565	△24	223	528	619	295	392		
機械部門	47	77	486	496	△9	161	425	611	220	347		
化成品部門	80	112	128	151	81	137	185	114	178	178		
全社、消去	△149	△67	△131	△83	△97	△75	△82	△106	△103	△133		
為替(円/ドル)	102.8	102.5	102.9	105.8	119.2	120.3	121.0	121.1	115.4	111.7		

(注)為替は、暦年ベースの四半期平均

【研究開発】製品開発の歴史

	機械	化成品
1964	自動フィルムコーティング装置	フィルムコーティング液
1965		HPC、HPS
1966		パーフィラー-101、ラブリワックス-101
1967		CMEC
1969	流動層造粒コーティング装置〈フローコーター〉	
1970	乾式造粒装置〈ローラーコンパクター〉	
1971	自動糖衣・フィルムコーティング装置〈ハイコーター〉	
1972		イチゴ用食品品質保持剤〈アンチモールド-101〉
1975	遠心流動型コーティング造粒装置〈CFグラニューレーター〉	医薬品添加剤〈ダイラクトーズ〉
1978		食品品質保持剤〈アンチモールド-102〉
1981	複合型流動層造粒コーティング装置〈スパイラフロー〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-101〉
1982		医薬品添加剤〈ノンパレル-103〉
1983	〈水分活性測定器〉	
1987		多機能型食品品質保持剤〈ネガモールド〉
1988	水系コーティング装置〈アクアコーター〉	栄養補助食品〈活性化イチヨウ葉エキス〉
1990	製剤工程自動制御システム〈ファーマトロニクス〉	
1991	シームレス ミニカプセル装置〈スフェレックス〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-105〉
1994	粒子形状測定装置〈グラニュトロニクス〉	
2000	遠心転動造粒コーティング装置〈グラニュレックス〉	
2001	ロータリー式流動層造粒乾燥装置〈テクトランサー〉	
2002		エタノール蒸散持続型食品品質保持剤〈アンチモールド・テンダー〉
2003		食品用コーティング基剤〈水性シェラック液〉、食品添加剤〈パーフィラー-102〉
2005	ツインスクリー式乾燥造粒器〈ローラーコンパクター〉 アンチモールド自動検知器〈アンチモールド デイレクター〉	
2006	食品・健康食品用全自動コーティング装置〈ハイコーター-FPC〉	医薬品添加剤〈ノンパレル108〉、医薬品添加剤〈ポリシングワックス-105〉 食品添加剤〈ポリシングワックス-104〉
2008	キットサンコーティング技術開発 自動錠剤コーティング装置〈ハイコーター-FZ〉	
2009	流動層造粒コーティング装置〈フローコーター-Universal〉 粉粒体輸送用コンテナ洗浄装置〈コンテナ洗浄装置〉	
2010	高速攪拌造粒装置〈グラニューマイスト〉 湿式/乾式造粒器〈ミルマイスト〉	医薬品添加剤〈グラニュートール〉 食品添加剤〈フーズガード〉
2012		食品品質保持剤〈ネガモールドナチュラル、ネガモールドライト〉
2013		食品添加剤〈マルチツールグラニュー〉、〈イソマルトグラニュー〉 直打用乳糖〈ダイラクトーズF(ファイン)〉
2014	錠剤印刷装置〈TABREX〉	口腔内崩壊錠用直打用賦形剤〈グラニュートールF(ファイン)〉
2016	錠剤印刷装置〈TABREX Rev.〉	

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6890-0767

FAX:03-6890-0870

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.frend.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。

ご清聴ありがとうございました。